

令和 9 年度

最重要 要望書

さあ、
恐竜の
まちへ。

勝山市



平素は、勝山市政の推進に際し、格別の御指導と御高配を賜り心から厚く御礼申し上げます。

勝山市では、第6次勝山市総合計画に掲げた、将来のまちの姿『わいわい わくわく 安全安心のまち かつやま』の実現を目指し、「地域の未来を創る」「まちの楽しさを創る」「子育て・教育」「福祉・健康」「産業・経済」「防災減災・生活環境」の6つの分野で政策目標を定め、各種施策に取り組んでいます。

令和9年4月からは、市内にある3校全ての中学校を統合し、県立勝山高等学校敷地内に新校舎を整備して、中高連携による新たな教育活動が始まります。少子化が急速に進む中、こどもたちの夢を応援するための投資を力強く進めていくことで、子育てしやすいまちを目指しています。

また、令和11年春の中部縦貫自動車道の県内全線開通により新たな人と物の流れが生まれることを視野に入れて、勝山市の強みである恐竜や自然・歴史文化を最大限生かしながら観光の産業化を推進するとともに、高齢者福祉や防災・減災、生活基盤の強化、農林業の継承など様々な課題に対し全力で取り組んでいるところです。

この度、将来のまちの姿の実現および魅力ある勝山市の発展のために重要な事項を取りまとめましたので、一日も早い実現に向け、予算措置をはじめ事業等の推進に特段のご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年8月

福井県知事 石田 嵩人 様

勝山市長 水上 実喜夫

令和 9 年度 最重要 要望項目一覧

こどもの給食費完全無償化について	…1
一級河川大蓮寺川河川改修事業の整備促進について	…2
かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）の 今後の整備運営について	…3



〔健康福祉部〕

こどもの給食費完全無償化について **新**

<現状>

小学校の給食費については、国の給食費負担軽減交付金において月額 5,200 円（上限基準）の支援が講じられることになりましたが、完全無償化には上限を超える保護者負担分についても地方自治体が独自に負担しているのが現状です。

また、中学校については、国は無償化の開始時期を示しておらず、私立小中学校に至っては国の支援対象から外れています。

さらに、認定こども園等では原則として給食費は保護者負担とされています。

このような中、勝山市では小中学校給食費の完全無償化、保育園および認定こども園給食の実質無償化を実施しています。



<課題>

給食費完全無償化については、各市町が独自に取り組んでおり、財政負担が大きくなっています。

<要望>

安心の子育て環境確保に向け、全国でも先進的な取り組みとして次の事項を推進すること。

- (1) 小学校給食の完全無償化に向けて制度の拡充を図ること。
- (2) 中学校給食の完全無償化を早期に実施すること。
- (3) 公私間で保護者負担の格差が生じないように、私立学校の給食費完全無償化の制度設計を行うこと。
- (4) 保育園や認定こども園の主食・副食費について、独自に支援する市町への財政支援を講じること。



〔土木部〕

一級河川大蓮寺川河川改修事業の 整備促進について^②

＜現状＞

一級河川大蓮寺川河川改修事業においては、平成22年度から平成28年度にかけて実施いただいた現川改修に加え、平成26年度から進めていただいた「元禄線放水路」が令和6年度に完成し、市街地中心部の治水対策が大きく前進しました。

＜課題＞

同事業において、「立石線放水路」が未完了であり、治水安全度が目標に達していません。大雨時に市街地への浸水が懸念されることから、「立石線放水路」の完成が求められます。



＜要望＞

立石線放水路の着工に向け、勝山市との協議を進めること。



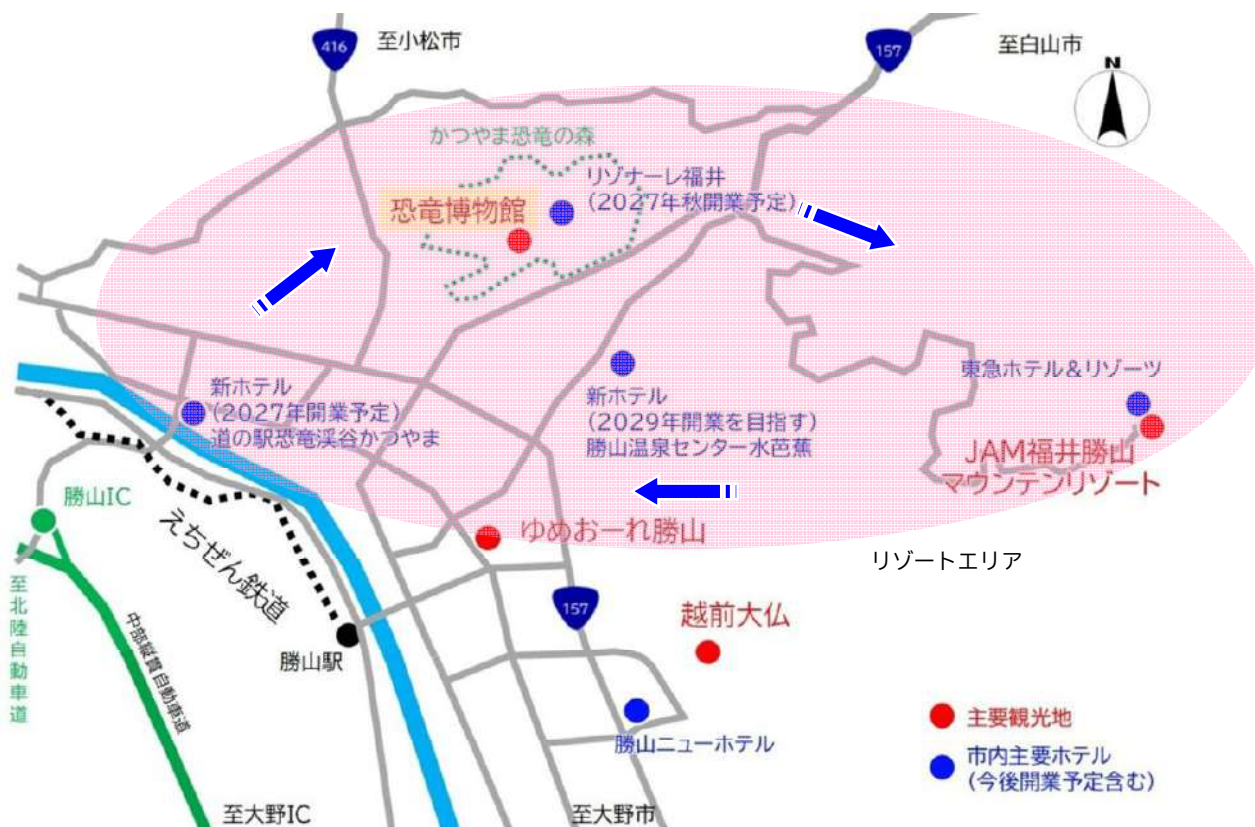


〔交流文化部・総務部〕

かつやま恐竜の森(長尾山総合公園)の 今後の整備・運営について^②

＜現状＞

勝山市は、年間300万人を超える観光客が全国から訪れる観光地であり、令和11年春に開通予定の中部縦貫自動車道（大野油坂道路）九頭竜IC～油坂出入口（仮称）間の開通により、さらに多くの観光客が訪れると予想されます。その観光客を受け入れるため、現在、令和9年秋開業予定のリゾナーレ福井や勝山温泉センター水芭蕉等での新しいホテル建設計画が進行中です。これにより、JAM福井勝山マウンテンリゾートや道の駅を含むリゾートエリア全体において、これまでの「通過型観光」から「滞在型観光」へと大きく転換する機運が高まっています。



【かつやま恐竜の森(長尾山総合公園)周辺の主要観光地、ホテル】



<課題>

「かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）」では、繁忙期に発生する公園内外での渋滞の解決が急務となっています。また、更なる賑わいに繋げていくためには、恐竜博物館、県立大学恐竜学部、そして勝山市が相互に連携していくことが重要です。



<要望>

- (1) 公園内外の渋滞対策のために、次の事項を勝山市、公園指定管理者と連携して検討すること。
 - ・新たな来館者駐車場整備に係る支援
 - ・繁忙期における入館者上限数の見直し
 - ・開館時間の柔軟な運用(開館前倒し、閉館時間繰り下げ)
 - ・通常期および閑散期の集客イベント開催等による来館者数の底上げ
 - ・日時指定の観覧券の事前購入制度継続および繁忙期の事前購入を促す広報の強化
 - ・来館者の公共交通機関利用の推進拡大
- (2) 恐竜博物館および県立大学の運営にあたり、引き続き必要な情報を勝山市および公園指定管理者に事前提供し、連携を図ること。



